

横浜で脱炭素化の事例を学び、 自国の持続可能な都市づくりを考える

独立行政法人国際協力機構 (JICA) 横浜センターでは、技術協力事業の一環として、6か国から8名の行政官を横浜に招き、1月13日から「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化研修」を実施します。

食料、インフラ、水資源、農業など、様々な分野に深刻な影響を与える気候変動は、世界一体で解決すべき課題となっており、それは国レベルだけでなく、市民により近い自治体レベルでの取組みの重要性が増しています。

本研修は、自治体レベルでの気候変動対策に配慮した都市計画を担当する行政官を対象に、横浜市および一般社団法人 Yokohama Urban Solution Alliance (YUSA) と連携し、脱炭素化を推進する横浜市各部局の施策や市内企業の技術紹介、関係者間の意見交換を通じ、行政官の能力強化と自治体間の連携促進を図ることを目的としています。

研修期間中は、英語の逐次通訳が同行しますので、研修員への個別インタビューも可能です。取材をご希望の方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

1. 研修概要

- ・研修名 : 課題別研修「脱炭素で持続可能な都市・地域開発のための自治体能力強化」
- ・研修期間 : 2025年1月13日 (月) ~ 2025年1月31日 (金) (来日日~帰国日)
- ・参加国 : ジャマイカ、パキスタン、フィリピン、ベトナム、マレーシア、メキシコ
- ・参加者 : 8名 (自治体レベルの気候変動対策に配慮した都市開発を担当する行政官)
- ・言語 : 英語 (逐次通訳が同行します)

2. 主な研修内容

- ・1月15日 (水) 10:00-10:15 ① 開講式
- ・1月15日 (水) 10:20-15:55 ① (発表) インセプションレポート発表会
- ・1月20日 (月) 9:30-11:50 ① (講義) 横浜市の気候変動施策、市民の行動変容
- ・1月21日 (火) 9:30-11:30 ② (講義) 横浜市役所の率先行動
- ・1月21日 (火) 14:00-16:00 ③ (講義・視察) 資源循環局の取組み・金沢焼却工場
- ・1月23日 (木) 14:00-16:00 ④ (講義・視察) 水環境の最先端技術
- ・1月28日 (火) 9:30-10:30 ① (講義) 中小企業の行動変容
- ・1月30日 (木) 9:00-15:40 ① (発表) アクションプラン発表会
- ・1月30日 (木) 17:00-17:30 ① 閉講式

3. 場所（上記2. ①～④に対応）

- ① 横浜国際協力センター6階
- ② 1月21日（火） 9：30-11：30 横浜市役所
- ③ 1月21日（火） 14：00-16：00 金沢焼却工場
- ④ 1月23日（木） 14：00-16：00 北部汚泥資源化センター

4. 取材の申込

- ・1月15日（水）の取材は、1月14日（火）15時までにお問合せください。
- ・その他については、各実施日の2営業日前の15時までにご連絡をお願いします。

■独立行政法人国際協力機構（JICA）について

JICAは、「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）実施機関として開発途上国が直面する課題を解決するため、技術協力、有償資金協力、無償資金協力など日本の政府開発援助（ODA）を一元的に担う二国間援助の実施機関で、150以上の国と地域で事業を展開しています。

国際社会の課題は日本とも密接に関係しています。国内外のパートナーと協力して課題解決に取り組み、世界の平和と繁栄、日本社会の更なる発展に貢献します。

詳しくは <https://www.jica.go.jp/index.html> をご覧ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 横浜 研修業務課 担当：野田
TEL 045-663-3221 e-mail：Noda.Norie2@jica.go.jp